

ほけんだより

らぽーと

神郷中学校 保健室

平成27年 7月21日 NO. 8



薬物乱用防止教室



7月15日に備北保健所池上さんから、薬物がもたらす身体的・精神的・社会的な影響について話をいただきました。一部ですが抜粋して感想を紹介します。

<生徒の感想から>



- ・病院でもらった薬も決められた量をきちんとした使い方で使いたいと思いました。
- ・危険ドラッグは誰が作っているのかどういう原料がどこで作っているのか全く分からない。普通の商品と同じようなパッケージに入っていて見た目も全く危なく見えないけれど体に入ればとても危険なものだと分かりました。
- ・危険ドラッグをすすめられたときの対応のしかたも分かってよかった。
- ・1回だけとかちょっとだけとか回数や量に関係なく使ってしまうともうそれが違法ということがわかりました。
- ・「1回だけなら…」とか「自分なら大丈夫。」とか軽い考えだと引き返せなくなってしまうんだということがわかりました。
- ・薬物は個人の問題でもあるけどやはり周りの人に迷惑がかかるし何より自分の体がこわれていくのでこわいなと思いました。
- ・命は1つなのでそのためにはどんな仲のよい友だちだってこれは怪しいと思えばやめなければいけないし、今日教えてもらった「話題を変える。」「壊れたCD作戦」「3D作戦」という3つの身の守り方を大事にして生活したいと思いました。

危険ドラッグに誘われたとき、どのように断りますか？



薬物乱用のきっかけは、怪しい売人によるものよりも知人友人からの誘いが多いといわれています。自分の体、未来を守るために、誘われても断る勇気を持ちましょう！

感想を見ると、薬の扱い方や覚せい剤等の薬物、危険ドラッグの危険性についてしっかり考えることができていました。危険ドラッグの所持、使用は法律で禁止されています。「何よりも自分を愛する気持ちを持ち、健康で幸せな人生を！」と言われたことが印象に残りました。薬物乱用に限らず、楽しいはずの夏休みが犯罪や事件に巻きこまれて台なしにならないようにしましょう！